

# Cグループ

学校の内と外をつなぐ

清陵情報高校

修明高校

小名浜高校

白河第二高校

メンター

薄井彩花

緑川美月

馬上詩菜

高松華蘭

加藤恵美

# 「繋がりが少ない」

---

## 問題提起



# 問題提起

例えば...

校則見直し会議のとき



## 問題提起

感じたこと

# 後悔

生徒と先生の意見が合わない...

上手くいかない...

## 問題提起

○なぜこんなことが起こるのか？

- ・先生、生徒との関わりが少ないから？
- ・お互いのことを知らないから？

つまり...

いろいろな価値観に触れる機会が少ない

のではないか？

## 問題提起

いろいろな価値観に触れる機会として...

小中高、他の高校、卒業生との関わりも  
少ない

だから学校では...

**生徒と先生が似た価値観で関わることが  
多くなってしまう**

# 「知りたいたいけど知れない」

---

## 現状分析

# 現状分析

他にもこんなことが...

障がいの方々への理解が少ない

- 無関心
- 知らない



# 現状分析

## ○例えば

- ・ テレビ、教科書
- ・ 友達と施設に行った時の友達の反応  
→ 行動、関わり方に驚き
- ・ 施設に対しての言動・嫌悪感  
→ 繋がりをつくりようとしてもつくりにくくなる

## 現状分析

○なぜ起こるのか？

**知ることが気軽にできない**

例えば...

ボランティアをしようと思っても

→お金が必要、時間がない（授業など）

じゃあ、知る機会  
を増やそう

---

課題解決提案

# 課題解決提案

## ○提案内容

- 同じ敷地内に様々な施設を建てる
- 若い世代も地域行事の企画運営をする
- SNSを利用して意見を交換、発表する
- 部活動や授業で知る機会を増やす

(ボランティア部など)

# 課題解決提案

○こんな事例があります

- 幼小、小中、保育園と障がい施設

→笑顔が増えた

- ボランティア部がある学校

→交流が増えた、続いた



# 私たちがつくりたい未来

- ・ 壁のない、みんなが過ごしやすい未来
- ・ 障がいの有無に関わらずいきいき暮らせる未来
- ・ 友達に囲まれた明るい学校生活を送れる未来
- ・ 人間的に豊かで寛容な人が溢れる未来

The background of the slide is white and decorated with a pattern of light blue snowflakes and stars of various sizes and orientations, scattered across the top and bottom edges.

これで発表を終わります